

- 4 総点検での整理の考え方

- ・ 総点検の実施にあたって、次のような整理を行いました。

- 1 . 局横断的視点から点検が必要なものの抽出
- 2 . PT と所属との議論経過で主な論点となったものの整理
- 3 . 点検の視点ごとの分類

- ・ 「点検の視点」の設定にあたっては、それぞれの事業の置かれている状況を把握しやすいように、見直しの時期（短期的な見直しが可能かどうか）、外部効率性（市民ニーズに合っているか、市民・企業と市が有効に関われているか、それぞれが社会的使命を果たしているか）、内部効率性（低コストで高サービスが提供できているか）、歳入確保策等の観点をベースに、さらに細かく分類を行い、16 項目による視点からの点検・精査に取り組んでいます。
- ・ 今後、継続的に事務事業の点検・精査を進めていきますが、市民や企業などからの意見、市会での議論をいただき、さらに議論を深めていく「出発点」として、現段階での計数整理や抽出されてきた課題の分析状況等について整理したものを「中間とりまとめ」として公表します。
- ・ なお、分類、コメント、見直しの時期等については、あくまで「中間とりまとめ」時点のものであり、今後、議論が深まるにつれて変更になることがあります。
- ・ また、この「中間とりまとめ」時点では、国の政策転換によって本市の施策にどう影響するのか明確になっていません。今後、その影響が明らかになった段階で織り込んでいきます。